

学校名 可愛小学校 校長名 飯森 秀志

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評定(数値平均)		対策・改善点	評定(数値平均)		主な意見		
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数		3.2	ホームページのブログを更新したり、学校だより等を定期的に掲載したりしている。		段階	人数
			A	9	A			3		
			B	22	B			2		
			C	3	C			0		
		D	0	D	0					
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	段階	人数	3.1	学力向上へ向けて、学力検査分析をもとに、授業改善を図りたい。	段階	人数	3.5	・毎時間の授業で個別指導を徹底する。
			A	5			A	2		
			B	27			B	2		
			C	2			C	0		
		D	0	D	0					
3	(2)	子供たちは、楽しそうに生き生きと学校生活を送っている。	段階	人数	3.2	各学級で連絡ノートや学級だよりを通じて児童の様子を伝え、理解と協力をお願いしている。	段階	人数	4.0	・子供たちの発想が行事等に取り入れてある。
			A	8			A	5		
			B	25			B	0		
			C	1			C	0		
		D	0	D	0					
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	3.4	すこやか委員会で共通理解を図り、課題に対しては全体で取り組んでいる。	段階	人数	3.6	・外部との連絡会も実施され、共通理解が図られている。
			A	13			A	3		
			B	21			B	2		
			C	0			C	0		
		D	0	D	0					
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	段階	人数	3.5	子供たちの安全については、学期ごとの集団下校や災害避難訓練時の集団下校等で交通安全、避難行動等の指導を行っている。	段階	人数	3.8	・通学路が狭く交通量も多いので、登下校指導を徹底する。
			A	17			A	4		
			B	17			B	1		
			C	0			C	0		
		D	0	D	0					
6	(4)	教職員は、子供や保護者、地域との望ましい関係を築いている。	段階	人数	3.0	保護者アンケート等で、担任への感謝の言葉の記述が多く見られた。	段階	人数	3.6	・先生方も地域の行事を参観してほしい。
			A	3			A	3		
			B	29			B	2		
			C	2			C	0		
		D	0	D	0					
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	段階	人数	3.3	清掃指導・緑化活動については、担当職員の呼びかけで全職員で意識して取り組むことができた。	段階	人数	4.0	・廊下・階段・教室等の整理整頓がなされ、花壇も手入れがよくなされている。
			A	11			A	5		
			B	21			B	0		
			C	2			C			
		D	0	D						
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。	段階	人数	3.5	毎月、学年ごとに分担し確実な安全点検を実施し、指摘箇所の迅速な改善に努めている。	段階	人数	3.4	・安全点検便りで共通理解されている。
			A	18			A	2		
			B	15			B	3		
			C	1			C	0		
		D	0	D	0					
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	3.1	学校だより等で学力調査の分析結果を知らせ、周知している。体力の実態を周知する必要がある。	段階	人数	3.4	学校だよりで地域の方々にも理解されている。
			A	5			A	2		
			B	26			B	3		
			C	3			C	0		
		D	0	D	0					
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	3.2	登校時の見守り活動等、保護者や地域から多くの御協力をいただいている。	段階	人数	3.4	・教育活動に対して協力的である。
			A	7			A	2		
			B	27			B	3		
			C	0			C	0		
		D	0	D	0					

様式6 令和3年度 学校関係者評価結果

No. 2

学 校 名
可愛小学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評価(数値平均)				評価(数値平均)	主な意見			
11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践され、子供たちの姿として現れている。	段階	人数	平均	コロナの影響で、行事や研修会が中止となることが多かった。実施可能な方法を模索したい。	段階	人数	平均	・コロナ禍で交流ができていないと思う。 ・小中一貫教育の研究授業がなされてよかった。	
			A	3			2.8	A			0
			B	20				B			3
			C	11				C			0
D	0	D	0								
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えてくれている。	段階	人数	平均	北中校区小小連携の合同元気塾(小4)を今後も継続していきたい。	段階	人数	平均	・内容や方法を具体的に進める。 ・専門の人の話が聞けるためになると思う。	
			A	4			3.0	A			1
			B	26				B			2
			C	4				C			0
D		D	0								
13	(6)	英語教育の推進について、小・中学校の特質を活かして充実が図られている。	段階	人数	平均	ALT, ESTを活用して英語の授業が充実してきている。中学校からの出前授業を積極的に取り入れたい。	段階	人数	平均	・廊下や教室の設営にも生かされている。	
			A	5			3.1	A			2
			B	28				B			2
			C	1				C			0
D		D	0								
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	平均	学校で教師への挨拶はできるが地域に帰ると不十分である。顔を知っている地域の方へは必ずあいさつできる態度を育てたい。	段階	人数	平均	・大人から挨拶すると子供たちも挨拶してくれる。 ・3通りの挨拶に3通りの家庭がある。	
			A	0			2.4	A			0
			B	14				B			5
			C	20				C			0
D	0	D	0								
15	(8)		段階	人数	平均		段階	人数	平均		
			A				#DIV/0!	A			
			B					B			
			C					C			
D		D									

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

<学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策>

- 小中一貫教育の推進について
 - ・ コロナ禍でも実施可能な交流・連携の在り方を4校で検討し、実践していく。
 - ・ 学力向上や不登校対応等の教育課題解決のため、小中の教員間の情報共有をさらに進める。
 - ・ 職員間の交流をさらに進め、小中間の垣根をなくす努力をする。
- 子供たちの学校や地域での挨拶の充実について
 - ・ まずは学校での挨拶(教師と子供、子供同士、来客への挨拶、会釈)を徹底して指導し、挨拶する態度を定着させる。
 - ・ 家庭での挨拶を保護者に啓発し、学校と家庭で共通指導を行う機運を高める。
 - ・ 「オアシス運動」をもとに、地域で顔見知りの方へ進んで挨拶するよう、学校・家庭・地域一体となって子供たちに指導する。